



2015年4月26日

今回の博物館だよりは、4月25日（土）に行われました講演会「明治洋画から学ぶ上手な絵の描き方」の様子についてお伝えいたします。

講演会「明治洋画から学ぶ上手な絵の描き方」

4月25日（土）午後2時～午後3時30分に講演会＜明治洋画から学ぶ上手な絵の描き方＞が開催されました。講師は田中善明氏（三重県立美術館 学芸普及課長）で、当日は約70名の方が参加。

講演会では、今回展示されている高橋由一、チャールズ・ワーグマン、川村清雄、五姓田義松などの作品を中心に洋画作品を紹介しながら「遠くのを細かく描く」「実物よりも大きく描く」「紙や板に描く」など特徴をポイントごとに説明。

油絵とはどういった技法で描かれているのか、日本に洋画が浸透していない時代に、高橋由一が模索しながらも如何にして油彩画を学び描いていったのかを、画家自身についてのエピソードを交えながら紹介。由一が41歳のころにワーグマンと同居を希望し東京府に申請するが居留地外のため却下されることなど、田中氏が終始楽しくお話しされていたので、和やかな雰囲気のととなりました。

今日本では当たり前となった“洋画”。このような技法を現代の日本人たちが描き続けられるということは、先人たちの努力があってこそだと痛感できる講演会となりました。

展覧会は5月17日（日）まで無休で開催中です。



☆子どもアート・イベント☆**※申込不要・当日自由参加**
クイズラリー「洋画のナゾを見つけよう！」

作品を見ながらクイズに挑戦します。

日時：5月3日（日）午前11時～午後3時まで

（1人30分程度。定員に達し次第終了）

対象：小・中学生

定員：100名（先着順）

～関連イベントのご案内～

詳しい展覧会情報は
当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com>
次回の「博物館だより」をお楽しみに。